

2月25日の夜、上原昇君（2組）からメールがあり、その日の朝、宮原豊君（9組）が亡くなったとの連絡があった。

入院していたのは知っていたので、9組の仲間でお見舞いに行こうと計画していたら、本人から、「カラオケがしたい」との要望があった。入院中の病院の近くのカラオケ店の予約までしたが、彼の唄声を聞くのは延期となったままだった。

その後、数日前に携帯に電話したが返答がなかった。

彼の実家、青木村の田沢温泉「ますや旅館」は記憶では、島崎藤村の小説にも出てきて、青木の宮原は名家のようだ。

早稲田大学・政経学部卒。日本貿易振興機構（JETRO）でインド所長を務め、特にインドについての造詣が深かった。



私の結婚式での若き日の宮原君

ジェット口勤務時代、マニラ、サンフランシスコ、ニューデリーなど海外を行き来していたが、東京に帰ってくるたびに新しい飲み屋を探してくれた。

あの世で、栗原と待っていてくれ。俺ももう少しで行くよ。

宮原君と筆者



以上

（2026年3月2日記）